

今泉工場建替基本計画

令和 7 年 6 月

仙 台 市

第 7 章 災害対策

第 1 節 浸水対策

1. 想定される災害

建設予定地は、名取川下流部左岸の堤防沿いに位置しており、名取川水系名取川に係る洪水浸水想定区域（国土交通省仙台河川国道事務所）においては、現況地盤から 3.0m 未満の高さまで浸水する可能性があるとしてされていることから、浸水対策は現況地盤から 3.0m の高さを基準とします。

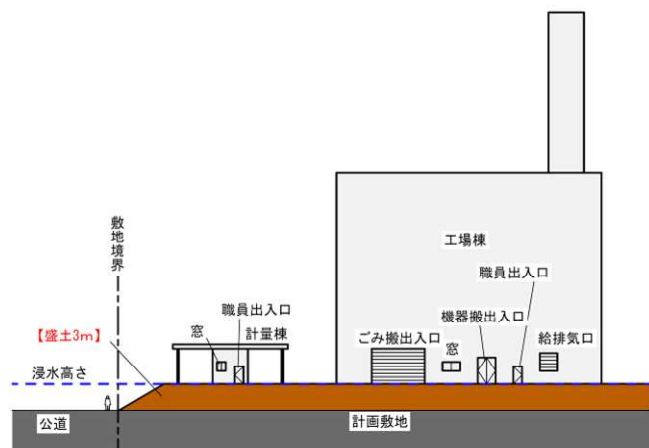
ただし、早期の再稼働に、必ずしも必要としない設備（外灯など）については、浸水対策から除外します。

2. 浸水対策

「廃棄物処理施設の耐震・浸水対策の手引き（令和 4 年環境省）」（以下「手引き」）から、新工場の浸水対策として、以下の 4 つの案について、表 7-1-1 のとおり比較を行いました。

A 案 嵩上げ案

現況地盤+3mの嵩上げによって
浸水そのものが及ばない地盤面を
造成する方法。



B 案 コンクリート塀施工案

建設予定地の周囲を高さ 3mの
コンクリート塀と止水用の門扉
(止水ゲート) で囲む方法。

